

長岡地区租税教育推進協議会 会長賞 佳作

税金がない世界

長岡市立三島中学校

三年 渡邊 心羽

税金は何のためにあるのか、税金は何に使われているのか、みなさんは考えたことがありますか。私は、税金についてあまりよく考えたことがありません。それは、自分たちの身近ではないものだと思っていたからです。

先日、学校の授業で租税教室が行われました。そこでは、税理士さんが来てくださり、税に関する様々なお話をしてもらいました。

私は、もし税金がなかったら物価の値段も安くなり、納税もしなくていいので、生活が豊かになると思っていました。しかし、それは全然違いました。では、税金がない世界だったら、どうなるのでしょうか。

まず、道路や橋についてです。道路や橋は毎日人や車が行き来したり、風雨にさらされることで傷んでいきます。しかし、私たちのために道路や橋が修理されるお金はないので壊れたまま放置されてしまいます。

次に、安全なくらしを守る警察についてです。残念ながら世の中にはたくさんさんの事件、事故、犯罪があります。なにか起きたときに税金がなかったら、警察を出勤させるのにもお金がかかり、

緊急事態に対応できなくなってしまいます。警察だけではありません。病院も、消防署も同じです。

最後に、誰もが安心して学べる教育環境についてです。子どもたちが安心して学べる環境を整えるための費用をまかなうことができなくなります。そして、教育のために必要な費用を子供たちの家族など一部の人で負担しなくてはならないので、非常に負担が重くなってしまいます。

そのような状況が続いてしまったら、日本では使えない道路や橋が増え、犯罪が次々に起こり、病院でも治療を受けられない人々が増え、不景気になってしまうのです。また、今日本の問題となっている少子高齢化もさらに進んでしまうでしょう。

私がこのことを知ったのはつい最近でした。初めて知ったとき、私はとても驚きました。税金は何のために、何に使われるのか、全く考えたことがありませんでした。自分たちに直接関係のないものだと思ったこともありました。しかし税金は、とっても大事な役割を果していたのです。私たちにとって税金はとても身近なもので、社会を支えるそのものだと思います。だからこそ、私たちも税金のありがたみを知り、もっと税金について考えるべきだと思います。税についてしっかり理解を深め、社会に貢献できるようにしていきたいです。